



一般社団法人 福岡県建築士事務所協会

TEL:092-473-7673 FAX:092-473-7278

<http://www.f-aa.jp> E-mail : info@f-aa.jp

目次 -Contents-

1	建築設計競技の結果報告	2
2	会議のご報告	10
3	建築倶楽部B I M推進協議会設立総会報告	15
4	令和2年度 日事連九州・沖縄ブロック協議会第1回会長会議報告	17
5	令和2年度九州設計4団体懇談会報告	18
6	慶弔関係	18
7	各支部・地域会よりお知らせ	19
8	会 員 動 静	27
9	役員さんの徒然雑記	28

1

福岡県内高等学校生並びに専門学校生による 建築設計競技 結果報告

令和2年度 福岡県内の高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技が開催されました。今年は高等学校の部5校より計57作品、専門学校部の部4校より計84作品のご応募を頂き、審査会にて選ばれた知事賞、他入賞者の表彰式が11月19日にオンライン形式にて行われました。

また令和3年1月25日～1月29日には福岡市役所 1階市民ロビーにおいて作品の展示会を開催致しました。

経 過

令和2年 6月25日 ……関係校へ課題を通知、応募期限を10月30日とする
 10月30日 ……提出校、高等学校の部5校57作品、専門学校部の部4校84作品
 11月2日 ……応募作品の課題条件の適合について予備審査を実施
 11月5日 ……審査員が集合し本審査開催、得点方式にて受賞候補作品を選出し、議論を重ねた結果各賞が決定
 11月19日 ……オンラインにおいて表彰式を開催
 令和3年 1月25日～1月29日 ……福岡市役所 1階市民ロビーにおいて作品展示会を開催予定

審査委員名

- 【審査委員長】西岡 弘 西日本工業大学建築学科 客員教授
- 福岡県建築都市部長 ●福岡県教育長 ●北九州市建築都市局長 ●福岡市住宅都市局長、
- (一財)福岡県建築住宅センター理事長 ●(公社)福岡県建築士会会長 ●(公社)日本建築家協会九州支部長、
- (一社)福岡県建築士事務所協会会長

協 賛

- (一財) 福岡県建築住宅センター

後 援

- 福岡県 ●福岡県教育委員会 ●北九州市 ●福岡市
- (公社)福岡県建築士会 ●(公社)日本建築家協会九州支部

参加者の皆さまへの御礼

今年度の建築設計競技は、コロナ禍の状況下で応募が激減するのではと懸念しておりましたが、高等学校の部で57作品、専門学校部の部で84作品と予想を上回る応募をいただき、主催者側を代表して関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

今年度は徒然草の作者、吉田兼好の一節「家の造りようは夏を旨とすべし」を共通のテーマに、夏にまつわる事象や現代社会が抱えるさまざまな問題を、この課題をとおして建築を学ぶ学生がどのようなアプローチを見せてくれるか非常に楽しみにしておりました。学生の皆さんにとっては難しい課題であったかもしれませんが、応募作品は多種多様な切り口で個性溢れる力作が多く、学生の皆さんの熱量を感じながら見応えのある審査会となりました。これもひとえに先生方の熱心なご指導の賜物と改めて敬意を表すると共に、来年度以降も引き続き建築設計競技にご協力を賜りますよう切にお願い申し上げます。

この建築設計競技に挑んだ学生たちが将来、九州・福岡の建築設計界を牽引する人材になる事を期待し、実務の場で再会できる事を楽しみにしております。

最後に、審査委員長の西岡先生をはじめ、ご支援をいただきました関係諸庁、各団体の皆様に心より感謝申し上げます。

〔 (一社) 福岡県建築士事務所協会 教育・研修委員会 委員長 松山 将勝 〕

計画趣旨

これは鎌倉時代に吉田兼好が書いた随筆「徒然草」第55段にある有名なフレーズで、建築関係では多くの人が知るところです。古来日本の建物は夏向きに作られていました。政治経済の中心都市があり、居住人口も多かった関東以西の日本では、空調機や扇風機のない時代、蒸し暑い夏を如何に過ごすかが重要な課題でした。極寒地でないこの地方では、冬は厚着し火を焚けば何とか過ごせたのですが、夏は裸同然になる外に手立てがなく、従って建物はできるだけ涼しく住める事が求められこのような表現になったわけです。

今回のテーマの夏を考えた時、今も続く新型コロナウイルス感染パンデミックが、日本において災害の集中する夏場でなかった事がせめてもの救いであり、もしも自然災害と重なって避難所に退避するような事態であればまさに三密で大変な事になっていたと思われます。その意味では家や身近なコミュニティ施設の在り方として今回のテーマも無縁ではありません。又、これから求められる「新しい生活様式」とは簡素で清潔で静謐な生活様式に変えていかねばならないと解釈すべきでこれは今回のテーマにも包含されます。

さて今日を考えてみますと、地球温暖化の影響もあってその夏の時期が長くなり、熱中症にかかる程の記録的猛暑が続く日も多くなっています。巨大化する台風の被害、ゲリラ豪雨など自然災害も夏季に集中しています。水や電気の大量消費による環境負荷の増大などマイナス面の要素が顕著である一方、多くの野菜や果物も出回り夏季は夏祭りなど行事も多く、明るい太陽の下で長期休暇を利用した海や山へのバカンス、あるいは花火、蛍狩りや蝉しぐれと言った情緒風情の豊かさ等生活全体が活性化するプラス要因のある季節でもあります。

電気設備に頼る現在の都市機能・建物は災害時いろいろな形で機能が麻痺する事は記憶に新しいところです。エネルギーを外国に依存し、少子高齢化で生産活動が低下する事が予測される中、資源の枯渇や環境問題を合わせて考えると闇雲に電氣的設備に頼る事は再考せねばなりません。又、電氣的装置化と情報化社会は伝統や風情に対する心情も変質させてもいます。

粛々と営まれる日常に対して不測の事態など袈（ケ）の非日常と、祭りなどハレの非日常に対して住まいや地域施設はどのような在り方が考えられるのでしょうか。幅広い観点から再度夏を意識し建物に反映させる事はまさに「夏を旨とすべし」ではないでしょうか。

情報網の発達とAIなど科学技術の発展はとめどなく文明化を進めています。それ程遠くない時期に車社会も変わるかもしれませんが、計画にあたって車社会は今しばらく続くといった程度の時間軸上で考え、余りに荒唐無稽な先走った計画でなく現時点でのリアリティを持った計画としてください。

学生にとって少し難しい課題かもしれませんが、難しいことに挑戦してこそ力がついてくるものと確信いたします。



計画趣旨

意識化と敢えて化を付けているのは、夏に対して表層を流れてしまうのではなく夏の諸々の問題を顕在化し、自身の問題として強く意識する事を促す意味で化を付けています。

長期優良住宅指針などでも常に述べられる高気密高断熱対応は、夏期には空調設備がある事を前提とした冬期に有効な建築的手段です。真夏でも外部の木陰で安静な状態ならば汗もかきません。風通しが悪く熱をため込む箱の中で暮らすから空調機に頼る生活になるのです。とは言っても空調設備の整った快適な空間に慣れ軟弱化した身体では単純に後戻りはできない事も事実です。

さらに少し違った視点でとらえると、画家はもちろん小学生でも現在の住宅あるいは住宅団地を絵の題材として描いているでしょうか。これは太陽光パネルや工業生産品で覆われた今の住宅の在り方に対して直感的な感性あるいは無意識下の異議申し立てとも言えます。

共通テーマでも述べているマイナス面とプラス面について記載した例に拘らず夏に向き合っただけでアイデアを出してください。但しあれもこれも取り入れるのではなく、これこそ夏を意識する上で大事な事だと絞り込んだテーマで全体が構築されている事が、作品として訴える力も出てくると思われまます。

普遍性を持ち高い文化性と技術的裏付けに支えられた建築的提案を求めます。又、地面に固定された建築である以上選んだ場所性と環境を反映している事、さらに現代という時代性を踏まえた計画が求められます。

前2回の審査経験から述べますと、全体に打ち立てたコンセプトが未消化である事、形態を含む具体的建築上の提案つまり平面図配置図段階での検討・作図が淡白で、言葉に頼りビジュアル表現に捉われ過ぎているように感じられます。

少し難しい課題かもしれませんが、共通テーマと課題を良く読んで咀嚼し、込められた意図を読み取って果敢に挑戦してください。

計画条件

■ 1) 敷地

- 面積……………260㎡。(間口13m×奥行20mの矩形)
- 用途地域……………指定なし。
- 接道条件……………2m以上の公道に接道。
- その他……………上下水道完備、受電は前面道路から、前面道路と敷地の高低差なし。駐車スペースは、乗用車2台を確保する。

■ 2) 建物

- 面積……………延床面積150㎡以内。
- 構造……………自由、3階建て以内。
- その他……………高齢者、車椅子対応などについては、教育内容進捗状況に基づき、建築基準法も考慮し適宜廊下幅を決め、斜路等を設置する。建蔽率、容積率については特に問わない。その他の法規制は適用しない。

■ 3) 提出図面

- 用紙……………当協会配布のケント紙(B2サイズ)一枚を使用し横使いとするが、サイズが同じであれば応募者で準備した用紙でも可。
- 提出内容……………**設計主旨** 課題にふさわしいイメージを膨らませるタイトルを付けるとともに設計コンセプトを明確に表現する事。(タイトル文字は必要以上に目立たせる事はない。何が表現として重要かを考える事。)
- **配置図** 縮尺は問いませんが、計画地がどれだけの面積を利用し、どのように公道に面しているかが判るような図として提出の事。
- **平面図** (1/100~1/200)
- **立面図** (1/100~1/200)
- **断面図** (1/100~1/200) 平面図に切断箇所を記入の事。
 ※上記縮尺は原則であり、設計建物の建築面積などから所定用紙に合わせて縮尺を変えて良い。
 ・外観パース(模型写真を添付する事は可とするがパースに代替することは不可。)
 ・設定敷地が判る地図及び周辺も含めた敷地写真(敢えてこれに言及するのは、建築が他のデザイン領域と異なり地面に固定されているということです。それ故建築は敷地環境から多くの影響を受け、また影響も与えアイデアもそこから多く生まれるからです。)
- **条件**……………必ず手書きとする。CGは不可、但し文字数字については、印字シート貼り等可とする。模型写真の添付や着色は自由。図面には面積表(必ずしも枠取りする必要なし)、方位、縮尺、寸法及び寸法引き出し線、室名を正しく記入する事。
 ※与条件は必ず守ること。与条件以外は自由に判断する事。

計画趣旨

共通テーマの中で述べている夏に関するプラスの要因あるいはマイナスの要因の例を参考に、各町内にある公民館的施設について、あなたが考えるあるべき地域施設を提案して下さい。

今の公民館は中高年の世代ではそれなりに活用されているようですが、若い世代は選挙の投票日に初めて出かけるくらいしか縁のない施設になっているのではないのでしょうか。何か夏を意識したアイデアを投入する事で、多角的利用や幅広い世代が利用する建物を提案してください。精神的あるいは肉体的に日々の暮らしをサポートする施設、あるいはこの施設が核となり地域のコミュニティを醸成させ豊かで安心のおける暮らしを創出する施設を考えてください。その時のキーワードとして共通テーマで述べているように夏を念頭に置く事が課題の要諦であります。

住宅でも同じ事が言えますが、あれもこれも取り入れるという事ではなく、中心になる考え方によって計画全体の方向付けができていく事が望ましいでしょう。例えば簡単な例を挙げれば、盆踊り広場のある納涼会館（公民館的使われ方も含む）と言った具合です。内容は単純ですが建築的にはいろいろ工夫が考えられます。

公共建築では一般的要求として三種の神器などと揶揄される1) 高齢者身障者等弱者対策、2) 環境共生、3) 木材等地方産業育成などがあげられますが、これらに夏という視点を重ねて考える事も一つの手がかりにもなります。

夏の環境・現象・行事などの中で何を選択するかで建物も大きく変わってきます。形態の新奇性や表現力に偏らず、身近な公共建築として他の建築の範となる、より本質的で普遍性を持つと共に提案に何かサムシングニューのあるものを期待します。大仰に課題に超克すると付けたのは、かくのごとく今日の夏季状況を重く受け止める事を意味しています。



計画条件

■ 1) 敷地

- 面積……………1800㎡。（間口40m×奥行45m）
- 用途地域……………指定なし。
- 接道条件……………6m以上の公道に接道。
- その他……………上下水道は完備し受電は前面道路から可能と仮定する。敷地の高低差は具体的な選択敷地による。駐車スペースは、管理者用2台内1台はマイクロバス用とする。（来館者用の駐車場は別にあるものとする。）

■ 2) 建物

- 面積……………延床面積600㎡以内。
- 構造……………自由、3階建て以内。
- その他……………E V設置、段差解消など高齢者利用に対応できるように配慮する。建蔽率、容積率については特に問わない。その他の法規制は適用しない。

■ 3) 提出図面

- 用紙……………当協会配布のケント紙（B2サイズ）一枚を使用し横使いとするが、サイズが同じであれば応募者で準備した用紙でも可。
- 提出内容……………
 - **設計主旨** 課題にふさわしいイメージを膨らませるタイトルを付けるとともに設計コンセプトを明確に表現する事。（タイトル文字は必要以上に目立たせる事はない。何が表現として重要かを考える事。）
 - **配置図** 縮尺は問いませんが、計画地がどれだけの面積を利用し、どのように公道に面しているかが判るような図として提出の事。
 - **平面図** (1/200～1/300)
 - **立面図** (1/200～1/300)
 - **断面図** (1/200～1/300) 平面図に切断箇所を記入の事
- ※上記縮尺は原則であり、設計建物の建築面積などから所定用紙に合わせて縮尺を変えて良い。
 - 外観パース（CG、模型写真に代えることも可。）
（通り側から見たアングル等コンセプトが判るように。）
 - 設定敷地が判る地図及び周辺も含めた敷地写真。（敢えてこれに言及するのは、建築が他のデザイン領域と異なり地面に固定されているということです。それ故建築は敷地環境から多くの影響を受け、また影響も与えアイデアもそこから多く生まれるからです。）
- ※手書き図面の場合、写真は敷地写真、模型写真も含め画像をパソコンに取り込み普通紙でプリントアウトしたものを貼ることが望ましい。写真の厚みのある光沢印画紙ではそれだけが表現上浮いてしまうからです。
- 条件……………CGも可、模型写真の添付や着色は自由、図面には面積表、方位、縮尺、寸法及び寸法引き出し線、室名を正しく記入する事。
- ※与条件は必ず守ること。与条件以外のことは自由に判断する事。



応募総数・入選者一覧

高等学校の部

応募校と 応募数

有明工業高等専門学校（1年～3年）	作品数	42作品
浮羽工業高等学校	〃	6作品
田川科学技術高等学校	〃	1作品
戸畑工業高等学校	〃	3作品
福岡工業高等学校	〃	5作品
計 5校		57作品



個人賞

●知事賞	福岡工業高等学校	3年	井上 賢太	
●福岡県教育委員会賞	福岡工業高等学校	3年	八尋 慎汰	
●(一財)福岡県建築住宅センター理事長賞	福岡工業高等学校	3年	加茂 大助	
●会長賞	福岡工業高等学校	3年	福富 秀容	
●(公社)福岡県建築士会会長賞	浮羽工業高等学校	3年	中村 真皓	
●(公社)日本建築家協会九州支部支部長賞	有明工業高等専門学校	3年	武藤 光輝	
●優秀賞	浮羽工業高等学校	3年	佐藤 真生	
〃	有明工業高等専門学校	3年	鷲見 武洋	
●佳作	福岡工業高等学校	3年	荒木 風駄	
〃	浮羽工業高等学校	3年	田中 康平	
〃	有明工業高等専門学校	3年	大久 龍弥	
●奨励賞	戸畑工業高等学校	3年	梅野みゆき	
〃	田川科学技術高等学校	2年	山口 岳斗	
〃	有明工業高等専門学校	3年	稲益 未羽	

※敬称略/順不同

団体賞

福岡工業高等学校

専門学校の部

応募校と 応募数

麻生建築&デザイン専門学校	作品数	33作品
九州職業能力開発大学校	〃	10作品
福岡建設専門学校	〃	35作品
福岡デザイン専門学校	〃	6作品
計 4校		84作品



個人賞

●知事賞	福岡デザイン専門学校	2年	佐伯 猛斗	
●福岡県教育委員会賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	中山 翔太	
●(一財)福岡県建築住宅センター理事長賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	外本 大宜	
●会長賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	前田 大尊	
●(公社)福岡県建築士会会長賞	福岡建設専門学校	2年	吉村 彩果	
●(公社)日本建築家協会九州支部支部長賞	福岡デザイン専門学校	2年	本多 葵	
●優秀賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	北野幸ノ介	
〃	麻生建築&デザイン専門学校	2年	高瀬 陸人	
〃	麻生建築&デザイン専門学校	2年	原田 真菜	
●佳作	福岡建設専門学校	2年	森本あゆみ	
〃	福岡建設専門学校	1年	永野公太郎	
〃	麻生建築&デザイン専門学校	2年	原田 新平	
〃	麻生建築&デザイン専門学校	1年	遠藤 太陽	
〃	福岡デザイン専門学校	2年	呉 昱樟	
●奨励賞	九州職業能力開発大学校	2年	大重 舜	
〃	九州職業能力開発大学校	2年	吉田江梨佳	
〃	麻生建築&デザイン専門学校	2年	伊賀上政之	

※敬称略/順不同

団体賞

麻生建築&デザイン専門学校

共通テーマ 『家の造りようは夏を旨とすべし』

高等学校の部 課題：『夏を意識化する住まいの計画』

専門学校の部 課題：『昨今の夏季を超克する地域施設 - 公民館』

騒然としたコロナパニックの中で冷静沈着に学生指導にあられた先生方にまずは深く敬意と感謝を申し上げる次第です。昨今の若い世代の一つの傾向を表しているのか表題に造語、短縮語が多く又、我々高齢且つ浅学の徒ではわからない難語を用いているのが気になります。以前「表題は大事でそれと各説明文の小見出しぐらいで意図が判るようであればいけない」と言ったことがありますけどどうも理解が違っているようです。又、みんなで集まって＝円形と言ったシミリー(直喩)的な発想が多い。一般的には建築はメタファー(暗喩)的に進めることが肝要です。円形、曲線は現時点における建築材料・工法からは余程の説得力、必然性がない限り不合理、不経済な形状解法であることは、拘束にならない程度には建築を学ぶ者としては知っておく必要があります。円形と円形が重なる入隅などは施工も難く見た目も美しくはありません。尚、出題内容が特異であっても出題者一人審査の場合と、数人による採点投票審査ではおのずと選出結果も違ってくる事をご理解いただき、今後のご指導の参考にしていただければと思います。

高等学校の部 総評

夏を意識するという漠然としたしかも要項で多様に考えられる事を提示したためかえって難しくなってしまったかもしれません。避暑のための住まい方ぐらいに絞り込む方がよかったですのではと反省しております。それでも夏一避暑一水や風、緑、景観などと関連づけ果敢に挑戦し工夫している事が随所に見られました。広く多様にアイデアを求める鵜の目鷹の目に加えて雨樋、蔭戸のような細部建具などに絞り込む蟻の目もアイデアを出す上で役に立ちます。特段の発想がなくともコートハウスやスケルトン・インフィルやメゾネット、通り庭等、普段の建築士の試験にも出るような学習上の建築関連のたくさんのボキャブラリーが、テーマや敷地状況に対して適切かつユニークな案を作る手がかりとなります。

専門学校の部 総評

今年も多数の力作の応募がありました。受賞作品は表現に偏り過ぎたりせず構造を含む建築的思考、形態操作にバランスが取れた作品です。関連する先例や資料収集等裏付け作業が脆弱だとどうしても独善的で説得力に欠ける作品になります。水と建築の例だけでも古くはルドウのルー河の監視人の家、そのパロディーとしてのマイケルグレーブスの美術館計画、安藤忠雄の水の教会、本福寺、サーリネンの大学チャペル等秀作の枚挙に暇がありません。本福寺は遮熱、貯水等環境、および修景からいろいろ示唆を与えてくれる作品です。受賞は逃しましたが、F分の1の揺らぎ(建築家相田武文の埼玉県鴻巣市川里ふるさと館参照)をテーマとした作品と、音場をテーマとした2つの作品は、眼の付け所は面白いのですが思索的作品だけによくテーマを理解していないと建築表現としては思い付きに終わり説得力に欠ける事になります。

知事賞

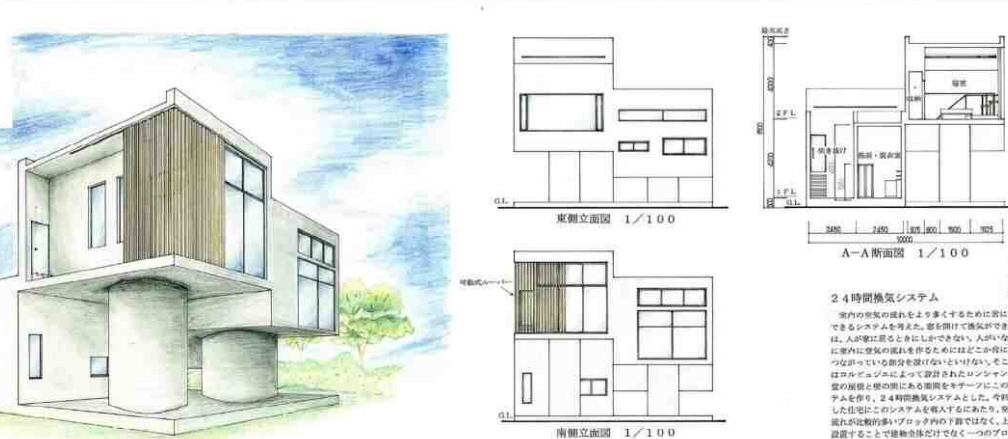
福岡工業高等学校

3年 井上賢太



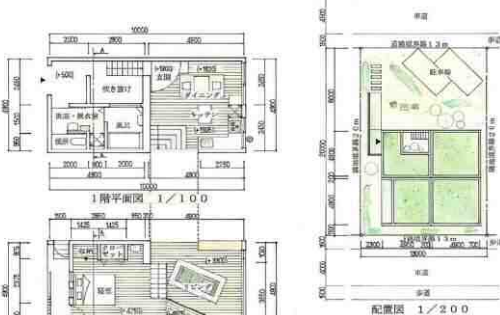
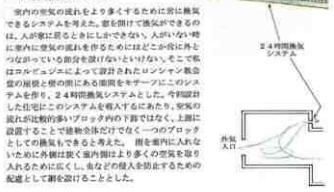
設計主旨

夏、家に帰ってきて涼しい中がジメジメしていて、寝た気がしないという不満を抱く。そんな気候を快適に過ごすには涼しく住むというイメージがある。その涼しさを活かす。涼しく住むというイメージがある。その涼しさを活かす。涼しく住むというイメージがある。その涼しさを活かす。



建物の中央部に落ち込みを設け、空間が広がるように設計。中央部に落ち込みを設け、空間が広がるように設計。中央部に落ち込みを設け、空間が広がるように設計。中央部に落ち込みを設け、空間が広がるように設計。

24時間換気システム



可動式レール

室内より多くの自然光を取り入れるために大きな窓を設置。しかし、夏の暑さを感じる要因として直射日光がある。直射日光は、人に直射日光が当たると不快な要素となる。そこで、直射日光が当たらないように可動式レールを設置。

面積表	
敷地面積	260㎡
建床面積	100㎡
床面積 1階	49㎡
床面積 2階	38㎡
延べ床面積	87㎡



知事賞 福岡工業高等学校 3年 井上賢太

一般社団法人 福岡県建築士事務所協会

講評

廻る ~暮らしの中に句読点~
古来、涼しく住むために高床式にしていた事に着目し、それを現代的な構造素材で解決しようとした力作です。建築的内容、表現的にもバランスが取れ密度もある作品です。文章の塊や図面などの配置も考えられています。特に内観パースは魅力的です。1階平面図で高床を作った意匠的に生かされる円形部分が、図面配置上から省略されているのが残念です。



受賞者コメント

この度は知事賞をいただきましてありがとうございます。
今回のテーマである『夏を旨とすべし』夏を意識化した住まいの計画をするにあたり、日本の夏の温暖湿潤なジメジメした暑さに注目しました。昔ながらの知恵として高床式が使われおり、この工法と自ら考えたシステムにより建物内の空気の循環を促し日本の夏を心地良く過ごそうと考えました。
この建築設計競技に取り組むことで得たものを忘れずに日々成長していきたいです。

知事賞

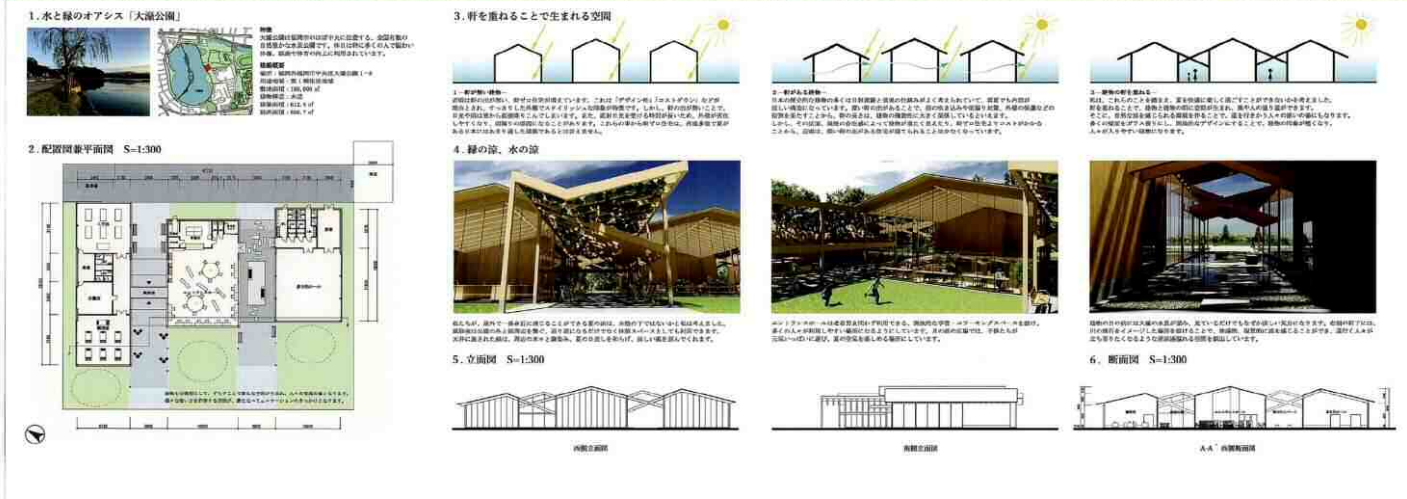
福岡デザイン専門学校

2年 佐伯 猛斗



緑涼の公民館 軒を重ねて生まれる空間で「涼」を楽しむ

大々の開放に馴染む屋根、そして緑に溶け込む建築



知事賞 福岡デザイン専門学校 2年 佐伯 猛斗

一般社団法人 福岡県建築士事務所協会

講評

緑涼の公民館 — 軒を重ねて生まれる空間で「涼」を楽しむ —
 特段変わったことをしなくてもものを射ていけば優れた作品になる好例です。敷地の選定、コンセプト、建築計画、プレゼンテーションすべてに渡って配慮が行き届き申し分ありません。



受賞者コメント

知事賞という名誉ある賞を頂き大変喜んでおります。
 今回の設計では、どうすれば夏を楽しく快適に過ごすことができるかを第一に、豊かで様々な可能性を感じる空間と建物のデザインとの融合を図りながら、最終的に納得のいくプランが完成しました。
 今後もこの受賞を励みに、より一層建築の世界を楽しみたいと思います。

2

会議のご報告

令和2年度 第7回常任理事会報告

日時 令和2年10月13日(火) 13:30～15:00

会場 ZoomによるWeb会議

出席者 会長、副会長、常任理事、支部長、事務局17名参加

議題

1. 協議事項

- [1]第3回理事会の進行、説明担当者、議題の確認
- [2]令和2年度中間監査開催について
- [3]【国土交通省補助事業】改正建築物省エネ法(小・中規模建築物設計者用)講習テキストの配布について
- [4]建築士事務所サポートプラン簡易チラシ配布について
- [5]地域司法連絡協議会当協会担当者について
- [6]福岡商工会議所建設部会部会長及び副部会長等の選任のための部会総会出席について
- [7]その他

2. 報告事項

- [1]日事連会誌「建築士の休日」の寄稿について
- [2]第4回専団連被災者支援制度研究会参加報告
- [3]その他

3. その他

- [1]次回会議等日程
- [2]その他

令和2年度 第3回理事会報告

日時 令和2年10月13日(火) 15:30～17:30

会場 ZoomによるWeb会議

出席者	理事会構成者数及び出席者数	理事会構成者数	26名
		出席者数	26名

議題

1. 審議事項

- [1]新入会員の承認、退会会員の報告(理事会決議事項)
- [2]令和2・3年度委員会構成及び委員会委員等について
- [3]その他

2. 協議事項

- [1]令和2年度建築士事務所キャンペーンについて
 - ① 基調講演について
 - ② 福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技について
 - ・審査会について
 - ・表彰式・展示会について
 - ・予算について
- [2]令和3年度以降の建築士事務所キャンペーン担当支部、地域会について
- [3]令和2年7月豪雨への対応について
 - ① 被害に遭われた会員へのお見舞金送付について
 - ② 各単位会からのお見舞金について
- [4]和みの会参加対象者への記念品の贈呈について
- [5]その他

3. 報告事項

- [1]県本部関係報告
 - ①支部・地域会への新型コロナウイルス感染症対策支援について
 - ②令和3年春の叙勲・褒章候補者の推薦について
 - ③法定講習について
 - ④適合証明技術者登録及び講習の実施について
 - ⑤既存住宅状況調査技術者講習実施報告
 - ⑥メールマガジン「建築福岡Quarterly」への寄稿のお願い
 - ⑦ホームページリニューアルについて
 - ⑧BIM推進協議会現状報告
 - ⑨九州設計4団体懇談会開催報告
 - ⑩九州・沖縄ブロック協議会第1回会長会議開催報告
 - ⑪福岡県建築登録センター受付件数、売上報告
 - ⑫年間スケジュール
 - ⑬その他
- [2]委員会開催報告
 - ①総務・財務委員会
 - ②事業委員会
- [3]支部・地域会報告
北九州支部、筑豊支部、福岡地域会、県南支部、大牟田支部
- [4]日事連関係報告
- [5]その他

4. その他

- [1]次回理事会開催日程について
- [2]その他

令和2年度 第8回常任理事会報告

日時 令和2年11月10日(火) 16:00～17:00

会場 ZoomによるWeb会議

出席者 会長、副会長、常任理事、事務局13名参加

議題

1. 協議事項

- [1] 弔慰金のお支払いについて
- [2] 令和2年度建築士事務所キャンペーンについて
 - ① 令和2年度福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技審査会実施及び審査結果について
 - ② 表彰式進行表について
- [3] 建築倶楽部BIM推進協議会設立総会及び各部会開催について
 - ① 当協会選出委員及び参加者について
- [4] 福岡県への要望書提出について
- [5] 九州設計4団体災害ネットワークWG福岡県メンバーの選出について
- [6] 福岡建設会館賃貸借契約の条件更新への対応について
- [7] 第44回建築士事務所全国大会(熊本大会)について
- [8] 九州・沖縄ブロック協議会第2回会長会議及び事務局会議開催に係るアンケートについて
- [9] 九州・沖縄ブロック協議会令和2年度 青年部会協議会開催について
- [10] 会誌「日事連」への単位会主催の建築賞・コンクール紹介に関する記事の募集依頼について
- [11] 和歌山会からの木造駐輪場の事例アンケートのお願いへの対応について
- [12] 第5回被災者支援制度研究会参加者について【専団連】
- [13] 建設業におけるICT(情報通信技術)の活用状況に関するアンケートの協力について(依頼)
【福岡県建築都市部営繕設備課長】
- [14] 事務局職員冬季賞与について
- [15] その他

2. 報告事項

- [1] 法定講習実施状況・実施計画及び受付状況報告
- [2] 適合証明技術者登録・講習受付状況報告
- [3] 改正建築物省エネ法講習HP公開の案内(動画配信)
- [4] 福岡県建築登録センター受付件数、売上報告
- [5] 日事連関係報告
 - ① 総務・財務委員会開催報告
 - ② 青年部会連絡会議開催報告
- [6] その他

3. その他

- [1] 次回会議等日程

令和2年度 第9回常任理事会報告

日時 令和2年12月8日(火) 14:00～15:15

会場 ZoomによるWeb会議

出席者 会長、副会長、常任理事、支部長、事務局15名参加

議題

1. 協議事項

- [1]第4回理事会の進行、説明担当者、議題の確認
- [2]令和3年通常総会開催方法、日程について
- [3]令和3年行政、関係団体新年挨拶廻り実施について
- [4]令和3年秋の叙勲・褒章及び建設事業関係功労者表彰候補者の推薦について【福岡県】
- [5]各支部、地域会Web会議システム導入費用の負担について
- [6]令和2年度第1回福岡県ブロック塀等安全対策推進協議会の開催について【福岡県建築指導課】
- [7]改正建築物省エネ法の説明義務制度に伴う建築主等からの相談について
- [8]単位会が事務所登録をして行っている事業等についてアンケートのお願い【日事連】
- [9]九州・沖縄ブロック協議会第2回会長会議、事務局会議開催について
- [10]九州・沖縄ブロック協議会令和2年度 青年部会協議会協議事項について
- [11]業界新聞からの新春特集号広告協賛のお願いについて
- [12]COFI 中・大規模木造建築設計セミナー「西日本 Series」後援名義の使用許可申請について
【カナダ林産業審議会】
- [13]令和2年度福岡県優秀施工者知事顕彰候補者の選考について
【福岡県建築指導課】
- [14]事務局、福岡県建築登録センター冬季休業について
- [15]その他

2. その他

- [1]次回会議等日程
- [2]その他

令和2年度 第4回理事会報告

日時 令和2年12月8日(火) 15:30～17:30

会場 ZoomによるWeb会議

出席者	理事会構成者数及び出席者数	理事会構成者数	26名
		出席者数	25名

議題

1. 審議事項

- [1]新入会員の承認、退会会員の報告(理事会決議事項)
- [2]その他

2. 協議事項

- [1]令和2年度上半期会務・事業報告
- [2]令和2年度上半期収支報告
- [3]令和2年度中間監査報告
- [4]事務局、福岡県建築登録センター賃貸借契約の条件更新への対応について
- [5]令和3年度建築士事務所キャンペーン日程、会場について
- [6]その他

3. 報告事項

- [1]県本部関係報告
 - ① 令和2年度建築士事務所キャンペーン実施報告
 - ・令和2年度福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技審査会及び審査結果報告
 - ・令和2年度福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技表彰式開催報告
 - ② 建築倶楽部BIM推進協議会設立総会及び各部会開催報告
 - ③ とちぎ建築プロジェクト・マロニエBIMコンペティション2020参加報告
 - ④ 福岡県への要望書提出について
 - ⑤ 日事連建築賞受賞作品決定について
 - ⑥ 日事連年次功労者表彰受賞者決定について
 - ⑦ 第44回建築士事務所全国大会(熊本大会)について
 - ⑧ 法定講習について
 - ・実施状況、受付状況及び今後の予定について
 - ・法定講習のオンライン等による実施について
 - ⑨ 適合証明技術者登録及び講習実施報告
 - ⑩ 既存住宅状況調査技術者講習のオンライン講習の実施について
 - ⑪ 第1回広報・渉外委員会開催報告
 - ⑫ メールマガジン「建築福岡Quarterly」への寄稿のお願い
 - ⑬ 福岡県建築登録センター受付件数、売上報告
 - ⑭ 年間スケジュール
 - ⑮ その他
- [2]支部・地域会報告
 - ・北九州支部、筑豊支部、福岡地域会、県南支部、大牟田支部
- [3]日事連関係報告
- [4]その他

4. その他

- [1]次回会議等日程
- [2]その他

3

建築倶楽部B I M推進協議会設立總會報告

◆日時 令和2年11月17日(火) 15:30～17:45

◆会場 舞鶴DSビル なごみA会議室

システム部会

出席者

(公社)福岡県建築士会福岡地域会	(一社)福岡県建築士事務所協会
(公社)日本建築家協会九州支部	(公社)日本建築家協会九州支部福岡地域会
(一社)日本建築構造技術者協会九州支部	(一社)福岡県設備設計事務所協会
(公社)日本建築積算協会九州支部	(一社)日本建築学会九州支部福岡支所
(一社)日本コンストラクション・マネジメント協会九州支部	

次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 委員の紹介
4. 議事
 - (1) 建築倶楽部B I M推進協議会設立總會規約(案)
 - (2) B I M推進に関するシステム部会設置要綱(案)
 - (3) 役員選出 部会長(1名)・副部会長(2名)
 - (4) 運営費について
5. 報告事項
 - (1) 国土交通省B I M推進協議会について
 - (2) 各種ソフトの連携情報について
6. その他
 - (1) 今後のスケジュール
 - (2) その他連絡事項
7. 閉会

技術部会

出席者

(公社)福岡県建築士会福岡地域会	(一社)福岡県建築士事務所協会
(公社)日本建築家協会九州支部	(公社)日本建築家協会九州支部福岡地域会
(一社)日本建築構造技術者協会九州支部	(一社)福岡県設備設計事務所協会
(公社)日本建築積算協会九州支部	(一社)日本建築学会九州支部福岡支所
(一社)日本コンストラクション・マネジメント協会九州支部	

次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 委員の紹介
4. 建築倶楽部B I M推進協議会規約の説明
5. 議事
 - (1) B I M推進に関する技術部会設置要綱(案)
 - (2) 役員選出 部会長(1名)・副部会長(1名)
6. 報告事項
 - (1) 技術資料について
 - (2) オブジェクトの属性情報について
7. その他
 - (1) 今後のスケジュール
8. 閉会

実務部会

出席者

(公社) 福岡県建築士会福岡地域会

(公社) 日本建築家協会九州支部

(一社) 日本建築構造技術者協会九州支部

(公社) 日本建築積算協会九州支部

(一社) 日本コンストラクション・マネジメント協会九州支部

(一社) 福岡県建築士事務所協会

(公社) 日本建築家協会九州支部福岡地域会

(一社) 福岡県設備設計事務所協会

次第

1. 開会

2. あいさつ

3. 委員の紹介

4. 建築倶楽部BIM推進協議会規約の説明

5. 議事

(1) BIM推進に関する実務部会設置要綱(案)

(2) 役員選出 部会長(1名)・副部会長(1名)

6. 報告事項

(1) 設計事務所福岡設計業務共同企業の取り組みについて

7. その他

(1) 今後のスケジュール

(2) その他連絡事項

8. 閉会



4

令和2年度 日事連九州・沖縄ブロック協議会第1回会長会議報告

- ◆ 1. 日 時 令和2年10月12日（月）10：00～12：30
- ◆ 2. 会 場 オンラインにて開催
- ◆ 3. 出席者 福岡会 岩本 茂美 会長、西 洋一 副会長、早田 倫明 副会長、松澤 徹 副会長、
八島 英孝 常任理事、上野 裕平 常任理事、岸本 章宏 常任理事、
田中 一樹 常任理事、小西 満洋 事務長
佐賀会2名、長崎会4名、熊本会2名、大分会7名、宮崎会2名、鹿児島会2名、沖縄会3名
- ◆ 4. 協議事項
 1. 日事連常置委員会の担当単位会の割り振りについて
 2. 九州・沖縄ブロックで統一した要望書を作成して各県に要望する要望事項について
 3. CM（コンストラクション・マネジメント）について ……………【福岡会】
 4. BIMの推進について ……………【福岡会】
 5. 会員増強について ……………【佐賀会】
 6. BIMの導入を要求した発注事例について ……………【熊本会】
 7. 告示第15号と告示第98号について ……………【熊本会】
 8. 地震以外の災害対策について ……………【宮崎会】
 9. コロナ禍における事業実施について ……………【鹿児島会】
 10. ブロック協議会からの助成金について ……………【鹿児島会】
 11. withコロナへの対応について ……………【沖縄会】
 12. 業務報酬基準（告示98号）の民間業務への適用状況、普及方法について……………【沖縄会】
 13. 単位会（建築士事務所協会）自身が一級建築士事務所登録を行うことについて……………【長崎会】
 14. 若者育成の観点から、若者（所属建築士50歳以下）を対象としたプロポーザルについて【長崎会】
 15. 設備一級建築士資格の活用について



5

令和2年度 九州設計4団体懇談会報告

- ◆ **日時** 令和2年10月5日(月) 14:00～17:00
- ◆ **会場** オンラインにて開催
- ◆ **出席者** (公社)日本建築士会連合会、(一社)日本建築士事務所協会連合会、
(公社)日本建築家協会、(一社)日本建築構造技術者協会、
の各単位会、支部、地域会の34団体より42名参加
- ◆ **司会進行** 松山将勝 J I A九州支部長

◆ 懇談会次第

1. 通信状況の確認
2. 開催挨拶 幹事の福岡県4団体代表者より挨拶
3. 2019年度九州設計4団体懇談会議事録確認
4. 本懇談会の設立趣旨と今後の発展について
5. (仮称)九州設計4団体災害ネットワーク設立準備の為のワーキンググループ(WG)発足について
6. 各県の他士業との連携状況について【福岡県設計4団体/福岡県建築士会】
7. 設計者を取り巻く設計環境について【福岡県設計4団体/福岡県建築士会】
8. コロナ禍の中での協会活動の進め方について【長崎県建築士事務所協会】
9. 地場の建築設計業界が人材を確保する取り組みについて【J I A熊本地域会】
10. 構造設計者の法律理解と業務実態・責任について【J S C A九州支部】
11. 来年度以降の懇談会の進め方について【J I A九州支部】



6

慶弔関係

福岡地域会会員であるジーケー建築士事務所会務代表者の郡山軍治様が令和2年12月26日に永眠され、親族の方のみで葬儀が執り行われました。

郡山会員におかれましては、毎年県本部通常総会にご参加のうえ貴重なご意見を頂き、また会報建築福岡の編集委員会委員長、建築製図技術認定試験の試験監督、建築パトロールへの協力、趣味の会への参加等長らく協会の発展にご尽力頂きましたことを感謝申し上げます。ご冥福を心よりお祈りいたします。



北九州支部からのお知らせ

令和2年度 第6回 定例幹事会議事録

- 日 時** 令和2年10月8日(木)17:00～18:00
- 参加者** 西部ガス、ひなた2階会議室(リハ-ワーク)、Zoomミーティング形式 併用
- 場 所** 金子、久松、山口、服巻、藤本、高崎、林、、小野、望月、高嶋、高浜、鷺池、大川
Zoom:川野、安東 ◇ 司会進行:金子

議 題

▶ 1. 児童絵画展

- **表彰式について**……計画通り行う予定
 - ◆ 人数は会場との調整が必要。
 - ◆ 1か月前頃に施設側と協議する
 - ◆ 人数制限を行い、組み替え方式も検討する
- **準備、役割分担**……検温機、消毒アルコールなど→購入する
- **参加賞、賞状等について**……担当：小野氏、望月氏
- **絵画展投稿の動向状況**……現在1校→学校への連絡体制への協力依頼を行う：金子会長担当
- **審査について**…… 2段階審査①PDFにて審査 ②11月12日16時 ひなたにて
 - ◆ 審査ルールの取り決めを行う

▶ 2. 住宅相談

- **大量（16件）の相談有り**……対応者不足や過剰要求の対応に苦慮(久松氏)
 - ◆ 再ルール化の必要があるのではないか
 - ◆ 地域毎の担当者を決めてはどうか →意見を踏まえ、役員(三役)にて協議する。

▶ 3. 今後の例会について

- ◆ 設計者の周辺の関係者を巻き込んだ勉強会を行いたい。
 - ◆ 弁護士、税理士などを迎えた勉強会の企画。 →意見を考慮し検討していく。

▶ 4. 助成金(IT化助成金)について

▶ 5. ネット販売の商品購入について

- ◆ オンライン会議の環境充実の為、機器を購入する(集合マイク、プロジェクター、ノートPC)
 - 承認を得た。

▶ 6. その他

- ◆ 11月のキャンペーンへの協力について
 - 協力する方向で

令和2年度 第7回 定例幹事会議事録

日 時 令和2年11月12日(木)16:00～18:00 場 所 西部ガスヒナタショールーム2F会議室

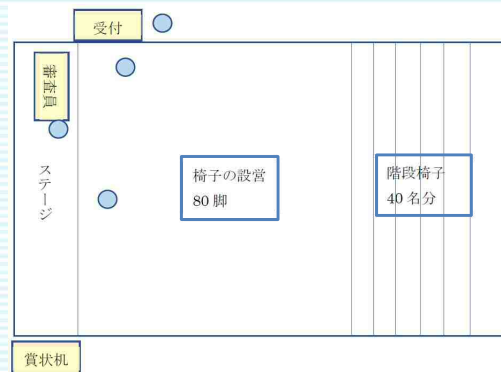
参加者 金子、藤本、久松、高崎、川野、大川、山口、林、服巻(Web)、安東、望月

◇ 司会議事録:金子

議 題

▶ 1. 児童絵画展について

- 絵画展投稿の結果報告、入賞者の決定：入選作品数を45点
- 表彰式について、子どもホールとの打ち合わせ内容の報告
 - ◆ 入場制限 120名まで
 - ◆ 協会で準備するもの：
 - プロジェクター、事務局PC、手指消毒スプレー4本（ステージ1ヶ所、会場3か所）、
 - 体温計、懸垂幕、協会旗
 - ◆ 会場で借りるもの：
 - マイクロホン、マイクスタンド、長机、客席用椅子、スクリーン
- 設営準備(11/28(土)9:30) 駐車場(7F)側入口にて待ち合わせ(子どもの館：10時オープン)
 - ◆ 1. 客席の椅子を並べる 80脚
(一定の間隔を取ることに)
 - 2. 受付機を並べ、準備をする
 - 3. ステージ上の審査員机2台、演台1台、賞状置き机1台配置
 - 4. 児童絵画展の横断幕を取付け
 - 5. 消毒スプレーを配置（ステージ上1か所、会場入り口2ヶ所、登壇口1ヶ所）
 - 6. 10時以降の入場は、駅側のEVからの入場だけに制限されています。



■ 表彰式 来賓（敬称略）

北九州市 建築都市局 指導部	市長賞無しのため、不参加
北九州市 建築都市局 指導部	総務課長指導課 市長賞無しのため、不参加
北九州市 住宅供給公社	吉村 明久(よしむらあきひさ)
一般財団法人 福岡県建築住宅センター 北九州事務所	統括監兼所長 川口 磯雄(かわぐちいそお)
公益社団法人 福岡県建築士会 北九州地域会	地域会長 西村 敏幸(にしむらとしゆき)
公益社団法人 日本建築家協会 九州支部 北福岡地域会	地域会長 杉野 友紀(すぎのともり)

■ 役割分担 表彰式（出席可能者を当日割り振り）

登壇者	金子
司会者	山口(伸)
賞状渡し(1名)	和泉稚菜
賞状準備(3名)	—
カメラ(1名)	—
プロジェクタ(1名) 室園	—
受付(1名)	久松

▶ 2. 今後の例会(講習会・勉強会等)について

- 九州北部税理士会小倉支部と調整中
 - ◆セミナー内容は、会員にアンケートを取る
 - ◆講師料は交通費として、2時間2万円で交渉する

▶ 3. オンライン機器を購入

- ◆プロジェクター：会員の方には、1000円/回として貸出可能にする
- ◆集合マイク
- ◆事務局ノートPC
- ◆ウィルス対策ソフト

4. 建築団体交流ゴルフコンペ企画(事務所協会・建築家協会共同)

- ▶ ●12月4日(金) 福岡県建築士事務所協会 北九州支部

報告事項

- 11月7日(土) 建事会ゴルフコンペ
参加組数など打診する。
- 11月11日(水) 県本部常任理事会
- 11月19日(木) 建築士事務所キャンペーン
- オンライン形式の高校生専門学校生の設計競技表彰式を行う。
- 戸畑工業高校は香月設計企画の香月さん、九州職業能力大学校は金子が表彰状の授与を現地で行う。
- 建築六団体賀詞交歓会について
六団体の意向はパーティー形式は無しとする。ただし今年は一度も顔を合わせていないので、代表者のみの着席食事を提案する予定。(幹事はJIA 杉野地域会長)

次回幹事会

- 12月4日(金) 18:30より (冬の忘年例会を予定、会場は調整中)



日 時 令和2年11月24日(火)17:00～18:30 場 所 ZOOM

参加者 久松、藤本、望月、小野、川野、山口、金子 ◇ 司会議事録：金子

議 題

コロナ第3波による感染者が俄かに多くなってきていることから、近々に開催する児童絵画展表彰式と忘年会を開催すべきかを話し合いました。

▶ 1. 児童絵画展表彰式の開催可否について

《可否についての意見》

- ◆ 表彰式参加の連絡を父兄からもらっているので、開催した方が良いのではないかと。
 - ◆ 先週、教育委員会から問合せがあったが、対策を万全にして開催の方針を伝えた。
 - ◆ 参加人数が多いのであれば、時間や人数制限などを設けてはどうか。
 - ◆ 現在までの参加者は75名程度。最大でも子供ホールが要求している定員250名の半分の120名を超えない見通しなので、このまま開催で良いのでは。
 - ◆ 当協会のコロナ対策の体制次第だと思う。
 - ◆ 受賞者本人や親御さんは表彰の舞台を望んでいるので、用心しながらも開催しては？
 - ◆ 影響が大きくなってきているので、中止も止む無し。
 - ◆ 参加が事前連絡制であるので、座席指定をした方がよい。家族ごとグループ。
- 概ね、感染予防を一層図りながら、時間を短縮し、密にならないようにして開催することに決まりました。

《コロナ対策のための確認事項》

- ◆ 席は指定席。事前に席配置票を渡す。椅子席はソーシャルディスタンスを取って配置。
- ◆ 佳作児童も一堂に並ばせずに、順に登壇してもらう。
- ◆ 時間短縮のため、開会の言葉・挨拶は金子が担当。閉会の言葉は、服巻副支部長が担当。
- ◆ 賞状の文面の読み上げは、冠賞と金賞まで。他は以下同文。
- ◆ 当日の協会側の参加者が少ないので、賛助会にも協力要請をする。
- ◆ 出席者には、入館経路の案内を送る。駐車場から駅側へのアクセス。
- ◆ EVの人数制限をする。
- ◆ 支部長挨拶にてコロナ禍のためにフォトスタンドをつけた旨を伝える。
- ◆ 後援団体は挨拶無しで、各賞のコメントのみいただく。

▶ 2. 忘年会の開催可否について

- ◆ 個人の責任で参加を判断してもらうことで良いのではないかと。
 - ◆ 本日参加までで15名なので、とても多くなることはないのでは。
 - ◆ 会食中に席の移動があると飛沫感染を防げない。
- 概ね参加は自己の判断で行って頂くことから、感染予防と対策を行った上で、開催することに決まりました。

《コロナ対策のための確認事項》

- ◆ 参加者の人数制限20名までとする。
- ◆ 席はくじ引きの固定席とする。
- ◆ 入店時に体温計測をする。37.5℃以上はその場で参加不可とする。
- ◆ 事務局からマスクを用意する。
- ◆ 飛沫感染防止のためのアクリル板を設置。
- ◆ 歓談時もマスク着用
- ◆ お酌禁止
- ◆ グラス、お猪口の回し飲み禁止
- ◆ 会話は静かに
- ◆ 名刺交換の前後は手指消毒。会食中の名刺交換は遠慮いただく。
- ◆ 接触確認アプリ「COCOA」を活用
- ◆ 「新しい生活様式」の実践

福岡地域会からのお知らせ

「建築関連法規の改正等」講習会を行いました

令和2年10月30日(金) 13:30~16:40 福岡県自治会館 2F会議室にて

福岡市住宅都市局より講師をお招きし、最近の法規改正等や天神ビッグバン・博多コネクティッドについて講義を頂きました。

- 天神ビッグバン・博多コネクティッドについて
- 建築基準法の改正等について(単体規定)
- 建築基準法の改正等について(集団規定)
- 土砂災害対策事業について
- かけ条例について
- コンストラクション・マネジメントの概要と現状について



県南支部からのお知らせ

令和2年 10・11・12月 行事経過報告

10 月

8月27日

- 第6回 執行部会 5名出席：えーるピア久留米にて
- 第4回 幹事会 19名出席：えーるピア久留米にて

1. 報告事項

- ① 県本会理事会報告
- ② 県南支部活動報告
 - ・ 7・8・9月 行事経過報告
 - ・ 令和2年7月豪雨災害お見舞金（本会より支給）
 - ・ 視察研修旅行の中止
 - ・ 支部・地域会への新型コロナウイルス感染症対策支援金（本会より支給）
- ③ 各委員会報告
- ④ その他報告事項

2. 協議事項

- ① 商品説明会について（教育・研修委員会）
- ② 賛助会員との懇親会について（広報・渉外委員会）
- ③ 感染症対策支援金について
- ④ その他協議事項

11 月

11月24日

- 臨時幹事会（書面表決） 決議者：16名 場所：（書面表決）
- 第3回 幹事会 14名出席：えーるピア久留米にて

1. 協議事項

- ① 賛助会員との懇親会について開催有無の書面表決 → 12/2 中止決定

大牟田支部からのお知らせ

幹事会のご報告

R2年度 第7回 令和2年10月26日(月) 17:30～

場 所 事務局会議室

出席者 高巢、宗正、中野、永江、水町

■ 1. 協議事項

- ① BIM対応について
・意匠、構造、設備、図面の干渉チェック機能etc
- ② その他（キャンペーンについて）
令和2年：福岡
令和3年：筑豊（北九州）
令和4年：大牟田

■ 2. 報告事項

- ① 10月1日(木) ● 支部会員へ配達(コロナ対策支援品)
- ② 10月2日(金) ● 全上
- ③ 10月7日(水) ● 第1回総務・財務委員会(なこみA会議室)
中野氏参加
- ④ 10月23日(金) ● 消防出初式の開催(関係者のみ)
- ⑤ その他

R2年度 第8回 令和2年11月30日(月) 17:30～

場 所 事務局会議室

出席者 高巢、宗正、中野

■ 1. 協議事項

- ① 新年会について：コロナ禍のため中止
- ② その他

■ 2. 報告事項

- ① 11月5日(木) ● 高校生・専門学生コンペ審査会
- ② 11月10日(火) ● 第8回常任理事会 → WEB形式での開催
- ③ 11月19日(木) ● 建築士事務所キャンペーン
● 高校生・専門学生コンペ表彰式
→ オンラインにて実施(有明高専は欠席)
- ④ 11月24日(火) ● 中間監査(本部)
- ⑤ その他

R2年度 第9回

令和2年12月21日(月) 17:30～

場 所 事務局会議室

出席者 高巢、宗正、中野、永江、水町

■ 1. 協議事項

①Web会議の設備導入費について（北九州支部提案）

- ・費用：他支部には10万円を追加する
- ・仕様：各支部の通り

②その他

■ 2. 報告事項

- ①12月8日(火)
- 第9回常任理事会 → WEB形式での開催
 - 第4回理事会 → 全上

②その他

8

会員動静

新入会員のご紹介

事務所名 東洋建工(株)

■会務代表者：河村 普剛 ■所在地：春日市天神山

福岡地域会に入会されました

事務所名 (株)エネ・グリーン

■会務代表者：中村 篤史 ■所在地：福岡市中央区高砂

福岡地域会に入会されました



常任理事 上野 裕平 さん

ある冬の日

1月8日からの全国的な大雪の影響で、福岡市内も久しぶりに数センチの積雪が記録され、雪に弱い九州は交通機関もマヒ状態。建築を学んだ大学時代の4年間は山形県で過ごしたので、雪は少々見てきましたが、やはり懐かしい気持ちになります。雪解けの後、舞鶴公園の鴻臚館跡地で開催されている、長男と次男が通うスポーツ教室と一緒にに行ってきました。その傍らで私も体を動かしながら久しぶりに鴻臚館跡地を散策しました。寒い中子供たちは元気に走り回っています。



グリーンアドベンチャーの看板
平成7年に設置されているようです。

すると、だいぶ朽ち果てていますが「グリーンアドベンチャー」なる立て看板を発見。よくよく見ると昔の平和台球場があったところの地図がベースになっています。公園内に点在する50種類の植物の名前を当てていくゲームのようです。地図上に1~50まで番号が振ってあります。管理事務所は既に閉まっていて、問題用紙はあるのか、果たしてこのアドベンチャーゲームはまだ続いているのか、気になります。

植物図鑑を片手に、広大な公園内を歩き、上ったり下ったりしながら植物を当てていく、、、。

なかなかハードなゲームですが、やりきると舞鶴公園が一周できる仕組みになっています。体を動かしながら、植栽も覚えられます。一石二鳥ですね。次回は意を決してチャレンジしてみようと思います。

右の写真は帰りに立ち寄った大濠公園の日本庭園横に昨年オープンした八女茶カフェ。普段は外まで人が並んでいますが、この日は極寒のせいか人もまばらでした。

